

[基本教育科目/人間力の養成]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
他者理解と信頼関係	NLA11_009	必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石野 徳子	415	t.ishino	火・木曜日 16:00~17:30		
授業の目的・概要	看護職にとって、人間関係を構築することが前提となる。本科目では、自己理解を深めるとともに、自己と他者との関係、他者理解、他者との円滑な信頼関係の構築の重要性について理解することが目的である。授業の概要として人間関係の中の自己と他者、医療従事者として対人関係や信頼関係を作る上で必要な基本的なコミュニケーションの技法などについて学ぶ。				
学習上の助言	自己理解を深め、他者との対人関係のあり方の重要性について体験をお通し学ぶ姿勢が必要である。				
教科書	統計看護学講座 基礎分野 人間関係論/著:石川ひろこ/医学書院/2018 第3版				
参考書	エクササイズで学ぶ心理学～自己理解と他者理解のために/青木智子・水國照充・木附千晶/北樹出版/2011.				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人生各期における発達段階について理解できる。		NS(1)(2)		
②	自分史を振り返り、自己理解を深めることができる。		NS(1)(2)		
③	他者理解をするために必要な基本的な知識を理解し、説明できる。		NS(1)(2)		
④	医療従事者として必要な基本的なコミュニケーションの知識を説明できる。		NS(1)(2)		
⑤	医療従事者として必要なコミュニケーション技法を身につけることができる。		NS(1)(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス、授業の概要、進め方、授業評価、自己理解について理解する。 (授業計画、授業方法、評価) 学習の進め方	対面授業	予習:教科書 p7~12 を読み、まとめる	1	
2	エリクソンの発達段階について学習する。	対面授業	自身の発達段階についてまとめる。	1	
3	自己理解について学習する。	対面授業	課題 1:自分史について記述する。	1	
4	自己と他者の関わりについて学習する。	対面授業	予習:教科書 p37~39 を読み、まとめる。	1	
5	集団における自身のリーダーシップについて学習する。	対面授業	予習:教科書 p72~77 を読み、まとめる。	1	
6	基本的なコミュニケーション技術について学習する。	対面授業・演習	予習:教科書 p82~88 を読み、まとめる。	1	
7	基本的なコミュニケーション技術について体験を通して学習する。	対面授業・演習	相互にコミュニケーションを体験する。	1	
8	保健医療チームの人間関係 1 について学習する。	対面授業	予習:教科書 p162~168 を読み、まとめる。	1	
9	保健医療チームの人間関係 2 について学習する。	対面授業・演習	課題 2:医療チームの中で人間関係を良好に保つための自身の課題	1	
10	患者を支える人間関係 1 について学習する	対面授業・演習	予習:教科書 p189~195 を読み、まとめる。	1	
11	患者を支える人間関係 2 について学習する	対面授業・演習	予習:教科書 p149~152 を読み、まとめる。	1	
12	患者を支える人間関係 3 について学習する。	対面授業・演習	課題 3:看護師どうしのコミュニケーションを通し学んだことを記述する。	2	
13	保健医療における人間関係:チーム医療に人間関係について学習する。	対面授業・演習	予習:教科書 p149~152 を読み、まとめる。	2	
14	アサーティブコミュニケーションについて学習する。	対面授業・演習	予習:教科書 p162~168 を読み、まとめる。	1	
15	まとめ	対面授業・演習	課題 4:他者理解と信頼関係についての自己の課題をまとめる。	1	
試	レポート提出 達成度評価、評価のポイント参照				

[基本教育科目/人間力の養成]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	自己理解、他者理解に必要な知識を理解した上でレポートを記述しているか。また、体験を通して学んだことや気づいたことなどを評価する。また、演習などを体験し、新たな気づきなどの内容がアクションペーパーに、記述されているかなどについて総合的に評価する。				コメントを入れて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	毎回の講義で質問を出し、質問への回答の提出により、学生の理解度や質問内容などを理解した上で、講義に参加しているか。また、提出日時を守っているか確認し評価の視点に加える				問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
<p>教員の実務経験：看護師・看護管理者として 30 年間の臨床経験、教員として大学教育に 16 年間、従事していた経験を有する。</p> <p>実践的授業の内容：これまでに培った臨床経験を講義の場で活かすように、事例を取り入れることや病院や大学教育で経験したことなどを伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫をしながら講義を行う。</p> <p>・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業に参加を認めません。</p> <p>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある。</p>							